

熊本県 熊本市

坂井 頼崇（企画部）



担当業務の内容

私は、平成28年8月9日から16日まで、東京都を通じての職員派遣により、平成28年熊本地震で被害を受けた熊本市に行ってきました。担当業務内容は以下のとおりです。

○ リ災証明発行のための建物被害認定調査

地震により、被害を受けた建物の被害程度を認定する調査です。この調査には、1次調査、2次調査、再調査の3段階がありますが、私が、主に担当したのは再調査です。1次調査の結果に不服があれば、2次調査が行われます。また、2次調査の結果にも不服があれば、再調査が行われます。再調査をもって、最終調査となります。熊本市では、8月の時点で、2次調査の申請件数約25,000

件のうち、50%超は終了し、同時並行で再調査の対応を進めている段階でした。

苦勞したこと・工夫したこと

1日に、午前2件、午後2件の調査を実施します。1班は4人編成で、熊本市職員1名・応援自治体職員3名（うち1人は、建築士資格所有者）の構成となります。役割分担としましては、熊本市職員が主体となって調査を行い、応援自治体職員は、建物の間取り図面作成や、建物の傾きの計測、写真撮影等を担当します。最終的には、4人で合議し、調査結果を確定します。調査結果は、その場で住民の方にお伝えします。その際、2次調査の結果と同じ結果となるケースが圧倒的に多いため、なかなかご承諾いただけないこともありました。住民の方のお話に真摯に耳を傾け、説明を尽くすことで、携わった全ての調査で住民の方からご承諾をいただくことができました。

印象的なエピソード

調査でお会いした多くの住民の方から、「東京からですか。遠くからありがとうございます。」など、温かな言葉をかけていただきました。熊本のために僅かでもお役に立てたのなら大変嬉しく思います。

所感

地震から4ヶ月が経過しましたが、未だ被害建物の修繕や解体もままならぬ方がたくさんいらっしゃいます。

熊本でお会いした方々は、皆様、懸命に前を見据えておられました。今後も引き続き、様々な形で全国からの支援が必要な状況かと思えます。

復興への道のりは、始まったばかりですが、熊本の一日も早い復興を祈念しつつ、結びとさせていただきます。

